

請 願 文 書 表

請 願 番 号	第 1 号	請 願 要 旨
受 理 年 月 日	令和5年2月20日	<p>【請願の趣旨】 国に対して「GX（グリーントランスフォーメーション）実現に向けた基本方針」を撤回し、省エネと再生可能エネルギーの主力電源化推進を求める意見書を提出すること</p> <p>【理由】 岸田文雄内閣が原発の「最大限活用」を明記した「GX（グリーントランスフォーメーション）実現に向けた基本方針」を閣議決定した。原発の建て替えや運転期間の延長などをはじめとする政策の大転換を政府の正式な方針にしている。 今、政府は、脱炭素や電力安定供給を理由に、原発の最大限活用に踏み出している。しかし、原発依存ではこれらを実現することはできない。原発固執は、気候危機打開に不可欠な省エネと再生可能エネルギーの普及、拡大の妨げとなる。 電力の安定供給に必要なのは、電力の需要の急激な増減に対応できる柔軟な電源の確保である。大口需要の時間調整の導入や蓄電システム強化、省エネで対処すべきである。出力調整ができない原発は適していない。 地震、津波が多発する日本で原発を推進することは、国民の命と安全、国土を危険にさらし続けることにしかならない。加えて、ウクライナで「原発が標的」になることをみても、その危険性は計り知れない。 福島原発事故から12年。なお苦しむ福島県民や、国民多数の原発ゼロの願いを踏みにじる原発回帰は看過できない。 よって国に対して「GX（グリーントランスフォーメーション）実現に向けた基本方針」を撤回し、省エネと再生可能エネルギーの主力電源化推進を求める意見書の提出を求める。</p>
件 名	「GX（グリーントランスフォーメーション）実現に向けた基本方針」を撤回し、省エネと再生可能エネルギーの主力電源化推進を求める意見書の提出を求めることについて	
請 願 者 所 住 氏 名		
紹 介 議 員	黄野瀬 明 子 節 木 三千代	
付 託 委 員 会	総務・企画・公室常任委員会	
審 査 結 果		

請 願 文 書 表

請 願 番 号	第 2 号	請 願 要 旨
受 理 年 月 日	令和5年2月20日	<p>【請願の趣旨および理由】</p> <p>政府は、2022年末に「安全保障関連3文書」（国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画）の改定を閣議決定した。先制攻撃も可能な「軍隊と武器」（敵基地攻撃能力）を持つとするものであり、「専守防衛」を基本としてきた戦後の安全保障戦略の大転換となり、憲法前文および9条に違反するものと言わざるを得ない。</p> <p>政府は、2027年度までの5年間で防衛費の総額を43兆円とし、GDP比を2%にするとしている。日本を米国、中国に次ぐ世界第3位の軍事大国にしようとしているのである。長射程ミサイル整備なども整備リストに挙がっており、周辺国の不信をあおり、軍拡競争を過熱させる悪循環になることは明らかである。</p> <p>また、政府は、防衛費増の財源捻出のために、増税と国債発行を検討しており、私たちの暮らしを直撃する懸念がある。防衛費が文部科学省の年間予算の2倍となり、教育費や社会保障費への国の支出減も懸念される。これでは暮らしも経済も立ち行かなくなる。</p> <p>今、憲法9条を持つ日本がやるべきことは、「戦争の準備」ではなく、対話と外交によって戦争を避ける努力イコール「平和の準備」である。国際社会が日本に期待するのも、憲法9条を生かした平和のための外交推進、核兵器のない世界実現への努力ではないか。</p> <p>私たちは、多くの自衛隊員の命を危険にさらす大軍拡路線には断固反対である。県民の安心、安全と暮らしを確保する見地から、滋賀県議会が国に対し、下記の意見書を提出することを求め、請願するものである。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>平和と暮らしを壊し、国民に負担を押しつける大軍拡、大増税に反対し、「安全保障関連3文書」改定の撤回を求める意見書を、国に対し提出すること</p>
件 名	平和と暮らしを壊す大軍拡、大増税に反対し、「安保関連3文書」改定の撤回を求める意見書の提出を求めることについて	
請 願 者 所 住 氏 名		
紹 介 議 員	黄野瀬 明子 節木 三千代	
付 託 委 員 会	総務・企画・公室常任委員会	
審 査 結 果		

請 願 文 書 表

請 願 番 号	第 3 号	請 願 要 旨
受 理 年 月 日	令和5年2月20日	<p>【請願趣旨】 政府は、2022年末に「安全保障3文書」（国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画）の改定を閣議決定した。その内容は、先制攻撃を可能とする「敵基地攻撃能力」の保有を進める大軍拡で、「専守防衛」を基本としてきた戦後の安全保障政策の大転換であると同時に、憲法違反であると言わざるを得ない。</p> <p>政府は、今後5年間で防衛費の総額を43兆円、GDP比2%にしようとしている。これをすれば、日本は米国、中国に次ぐ世界第3位の軍事大国となる。長距離巡航ミサイルの購入、極超音速誘導弾の開発などで、周辺国に脅威を与え、軍拡競争をあおる悪循環になることは明らかである。</p> <p>また、この大軍拡は、大増税と暮らしの予算削減を国民に押しつけるものとなっている。さらに、「防衛費に国債は使えない」というこれまでの政府見解をほごにし、国債の発行を検討している。物価高騰が国民を苦しめているさなかに、暮らしの予算を削って軍事費につぎ込めば、暮らしも経済も立ち行かなくなる。</p> <p>今、憲法9条を持つ日本がすべきことは、「戦争の準備」ではなく、対話と外交により戦争を避ける努力をすることである。国際社会が日本に期待するのは、日本国憲法第9条の精神を名実ともに発揮した平和外交の推進や、核兵器のない世界を実現するための努力ではないか。</p> <p>県民の安心、安全と暮らしを守るためにも、「安保3文書」閣議決定の撤回を日本政府に強く求めるものである。</p> <p>【請願項目】 平和と暮らしを破壊し、国民に負担を押しつける大軍拡・大増税に反対し、「安全保障3文書」閣議決定の撤回を日本政府に求める意見書を提出すること</p>
件 名	平和と暮らしを破壊する大軍拡・大増税に反対し、「安保3文書」閣議決定の撤回を日本政府に求める意見書を提出することについて	
請 願 者 所 住 氏 名		
紹 介 議 員	黄野瀬 明 子 節 木 三千代	
付 託 委 員 会	総務・企画・公室常任委員会	
審 査 結 果		

請 願 文 書 表

請 願 番 号	第 4 号	請 願 要 旨
受 理 年 月 日	令和5年2月20日	<p>【請願の趣旨および理由】</p> <p>政府は、2022年末に「安全保障関連3文書」（国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画）の改定を閣議決定した。先制攻撃も可能な「軍隊と武器」（敵基地攻撃能力）を持つとするものであり、「専守防衛」を基本としてきた戦後の安全保障戦略の大転換となり、憲法前文および9条に違反するものと言わざるを得ない。</p> <p>政府は、2027年度までの5年間で防衛費の総額を43兆円とし、GDP比を2%にするとしている。日本を米国、中国に次ぐ世界第3位の軍事大国にしようとしている。長射程ミサイル整備なども整備リストに挙がっており、周辺国の不信をあおり、軍拡競争を過熱させる悪循環になることは明らかである。</p> <p>また、政府は、防衛費増の財源捻出のために、増税と国債発行を検討しており、私たちの暮らしを直撃する懸念がある。防衛費が文部科学省の年間予算の2倍となり、教育費や社会保障費への国の支出減も懸念される。これでは暮らしも経済も立ち行かなくなる。</p> <p>今、憲法9条を持つ日本がやるべきことは、「戦争の準備」ではなく、対話と外交によって戦争を避ける努力イコール「平和の準備」である。国際社会が日本に期待するのも、憲法9条を生かした平和のための外交推進、核兵器のない世界実現への努力ではないか。</p> <p>私たちは、多くの自衛隊員の命を危険にさらす大軍拡路線には断固反対である。</p> <p>県民の安心、安全と暮らしを確保する見地から、滋賀県議会が国に対し、下記の意見書を提出することを求め、請願するものである。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>平和と暮らしを壊し、国民に負担を押しつける大軍拡、大増税に反対し、「安全保障関連3文書」改定の撤回を求める意見書を、国に対し提出すること</p>
件 名	平和と暮らしを壊す大軍拡、大増税に反対し、「安保関連3文書」改定の撤回を求める意見書の提出を求めることについて	
請 願 者 所 住 氏 名		
紹 介 議 員	黄野瀬 明 子 節 木 三千代	
付 託 委 員 会	総務・企画・公室常任委員会	
審 査 結 果		